

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	鉄骨精度検査小委員会	主 査 名：護 雅典
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会（鉄骨工事運営委員会）	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2002 年 4 月 ～ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	現行の「鉄骨精度測定指針」に示されている規定値を最新の測定技術、研究成果に基づき、再検討する。その内容を JASS6、上記指針等の改定に反映させる。 初年度：現行指針の見直し、問題点の整理 2 年度：測定技術に関するデータ収集・分析 3 年度：精度規定値の提示、測定方法の整理。上記指針等改定の具体的作業。 4 年度：具体的内容の取りまとめ。改定内容のフォロー。	
委員構成 (委員名 (所属))	護雅典（竹中工務店）、山田丈富（千葉工業大学）、天伏昭（清水建設）内山晴夫（久米設計）、岡田久志（愛知工業大学）、加賀美安男（日建設計）、小口守（川田工業）、熊倉吉一（藤木鉄工）、桑原進（大阪大学）、斉藤正則（東京理学院検査）、下川辺敏一（大林組） 羽石良一（ニッコー）、春田泰之（川崎重工業）、藤田哲也（日本設計）牧野俊雄（住友金属）	
設置 WG (WG 名：目的)	無し	
2003 年度予算	180000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年：4/16（7 人）、7/16(8 人)、9/26（8 人）、10/28（8 人） 2004 年：1/21（10 人）、3/29（10 人）
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1. 精度測定指針改定をにらんだデータ収集 設計者、ファブリケーター向けアンケートを回収 問題点を確認した。 2. 現在規定されている測定項目、測定方法に関する問題点の把握 追加あるいは改定すべき測定項目、測定方法、測定治具の洗い出しを行った。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 1. ほぼ当初計画どおり活動できた。 2. ゼネコン、検査会社向けアンケート調査が遅れ気味である。発送は今年度完了したが、内容検討が次年度となる。
その他評価すべき事項	